

1. 略歴

- 2000年4月 東京大学教養学部文科Ⅲ類 入学
- 2002年4月 東京大学文学部思想文化学科宗教学宗教史学専修課程 進学
- 2004年3月 東京大学文学部思想文化学科宗教学宗教史学専修課程 卒業
- 2004年4月 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学専門分野修士課程 入学
- 2007年3月 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学専門分野修士課程 修了
- 2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学専門分野博士課程 進学
- 2009年4月 日本学術振興会特別研究員 (DC2) (東京大学、至2011年3月)
- 2010年6月 サントル・セーヴルーパリ・イエズス会神学部 (日本学術振興会優秀若手研究者海外派遣事業 (第二回) による海外派遣、至2011年3月)
- 2011年9月 フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 博士課程 入学
- 2011年9月 フランス政府給費留学生 (フランス国立社会科学高等研究院、至2013年7月)
- 2012年7月 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学専門分野博士課程 単位取得退学
- 2012年8月 東京大学大学院次世代人文学開発センター研究員 (至2013年3月)
- 2014年4月 天理大学人間学部宗教学科 専任講師
- 2014年11月 博士 (文学)、東京大学
- 2015年4月 フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 博士課程 退学
- 2019年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 学位論文

「ジャン=ジョゼフ・スュラン研究—17世紀フランス神秘主義における体験と信仰—」、2014年11月、320頁

(2) 著書

『ジャン=ジョゼフ・スュラン——七世紀フランス神秘主義の光芒——』慶應義塾大学出版会、2016年10月、474頁

(3) 学術論文

「よきカルヴィニストのラブレール——「野生の身体」と「カーニヴァルの言語」——」『東京大学宗教学年報』XXV、2008年3月、129-144頁

「十七世紀フランス神秘主義研究の諸問題—J.J. スュランを焦点に—」『東京大学宗教学年報』XXVII、2010年3月、103-117頁

「神秘体験と共生の地平—J.J. スュラン『体験の学知』をめぐる—」『共生学』5号、2011年2月、123-154頁

「J.J. スュランと「反神秘主義」—ある霊的闘争のゆくえ—」『東京大学宗教学年報』XXVIII、2011年3月、121-136頁

「17世紀フランス・カトリックにおける霊性・俗人・神秘主義—新しい宗教史的視座のために—」、深澤英隆・鶴岡賀雄 (編) 『スピリチュアリティの宗教史 (下巻)』リトン、2012年1月、271-299頁

「体験を超えて—ジャン=ジョゼフ・スュランの神秘主義—」『宗教研究』594号、2012年12月、1-25頁

「17世紀フランス神秘主義における「純粋な愛」の問題—フェヌロンからフランソワ・ド・サルへ—」『東京大学宗教学年報』XXIX、2013年3月、49-66頁

「もうひとつのエクスタシー——「神秘主義」再考のために——」『ロザリウム・ミュスティウム：女性神秘思想研究』1号、2013年7月、63-81頁

「信仰の闇を「超える」二つの道—フェヌロンとスュラン—」『共生学』8号、2014年2月、44-77頁

« Une autre extase : la mystique vue sous un jour nouveau », *Cahier Multiculturel de la Maison du Japon*, VII, 2014. 2, pp. 3-20.

「ある墮地獄者の証し—J・J・スュランに寄せて—」『福音と世界』69巻11号、2014年11月、20-24頁

「はじまりの喜び—「よろづよ八首」試論—」『天理教学研究』45号、2015年3月、57-81頁

同上英訳 “The Joy of the Beginning: A Study on the ‘Eight Verses of the *Yorozuyō*’” (translated by Koichi Tsumoto), *Tenri Journal of Religion*, 46, 2018. 3, pp. 1-24.

「教祖の身体—中山みき考—」『共生学』10号、2015年12月、6-44頁

« Lire Surin et/ou lire Certeau », in Luce Giard (éd.), *Michel de Certeau. Le voyage de l'œuvre*, Éditions Facultés jésuites de Paris, 2017.2, pp. 89-100

「体験なき信仰は空虚なのか？」『あらきとうりょう』269号、2017年11月、76-87頁

「「パロール」とそのゆくえ—ミシェル・ド・セルトーにおける宗教言語論の輪郭—」『天理大学学报』249輯、2018年10月

(4) その他（書評・翻訳など）

（書評）Catherine Bell, *Ritual: Perspectives and Dimensions* (Oxford University Press, 1997), 『東京大学宗教学年報』XXII、2005年3月、203-208頁

（翻訳）アラン・コルバン編『キリスト教の歴史—現代をよりよく理解するために—』藤原書店、浜名優美（監訳）、藤本拓也・渡辺優（訳）、2010年5月（担当：81-318頁）

（翻訳）グレゴリー・ボサール「墓碑と記念碑—紀伊半島における社会・環境的災害と災害犠牲者の記憶を支えるもの—」『死生学・応用倫理研究』20号、2015年3月、31-51頁

（翻訳）セシル・ブリス「忘れられゆくものの記憶—弾力的回復への抵抗の一形態—」『死生学・応用倫理研究』20号、2015年3月、73-82頁

(5) 学会・シンポジウム等報告

「ジャン・ド・レリの他者経験とその表象」、日本宗教学会第六六回学術大会発表、2007年9月

「「民衆」概念による近世フランス神秘主義へのアプローチ」、日本宗教学会第六八回学術大会発表、2009年9月

「神秘体験と共生の地平—J.-J. スュラン『体験の学知 *Science expérimentale*』をめぐって—」、上智大学共生学研究会発表、2010年5月

「「体験の学知」としての近世西欧神秘主義批判」、日本宗教学会第七〇回学術大会発表、2011年9月

« Au-delà de l'expérience. Jean-Joseph Surin et les problèmes de la mystique française au XVIIème siècle », dans le cadre de « Regards croisés » organisés par Patrick Goujon S.J., Paris, Centre Sèvres, (パリ・イエズス会神学部一般公開研究会発表)、2012年5月

« Une autre extase: la mystique sous un jour nouveau », CEM (パリ国際大学都市日本館多文化交流研究会) 2013年度第一回研究会発表、2013年4月

「なにも見ることなく信じるということ—キリスト教神秘主義における体験と信仰—」、天理セミナー第一回研究会発表、2013年7月

「ジャン=ジョゼフ・スュランの神秘主義における「信仰」について」、日本宗教学会第七二回学術大会発表、2013年9月

「信仰の闇を「超える」二つの道—フェヌロンとスュラン—」、上智大学共生学研究会・上智大学教育イノベーション共催シンポジウム「闇—超越と認識—」発表、2013年12月

「ミシェル・ド・セルトーの神秘主義研究と「神学」」、日本宗教学会第七三回学術大会発表、2014年9月

「教祖の身体—中山みき考—」、上智大学共生学研究会主催シンポジウム「女性と共生」発表、2014年12月

「証言（証し）論としての「神秘主義」論序説」、天理セミナー第二回研究会発表、2015年1月11日

「「神秘主義」および「神秘体験」概念の再検討—根源的信仰論に向けて—」、天理大学附属おやさと研究所第二八一回研究報告会発表、2015年4月

「神秘家の「願い *désir*」—ミシェル・ド・セルトーに寄せて—」、日本宗教学会第七四回学術大会発表、2015年9月

「家族論再考」、天理セミナー第三回研究会発表、2015年12月

« Lire Surin et/ou lire Certeau », Colloque international au Centre Sèvres - Facultés jésuites de Paris « Michel de Certeau. Le voyage de l'oeuvre » (ミシェル・ド・セルトー没後30周年記念国際シンポジウム発表)、2016年3月

「神秘主義の体験論から信仰論へ—もうひとつの「経験の学知 (*science expérimentale*)」をめぐって—」、科学研究費補助金（基盤B）「宗教思想研究の基礎概念再考—mysticism及び関連概念の理論的・系譜学的研究—」第三回研究会発表、2016年6月

「ミシェル・ド・セルトーのキリスト教論」、日本宗教学会第七五回学術大会発表、2016年9月

「「宗教者」ミシェル・ド・セルトー」、天理セミナー第四回研究会発表、2017年1月

「「魂の根底」の溶解?—中世から近世にかけての西欧神秘思想の変容をめぐって—」、科学研究費補助金（基盤B）「宗教思想研究の基礎概念再考—mysticism及び関連概念の理論的・系譜学的研究—」第五回研究会発表、2017年7月

「中世から近世にかけての西欧における神秘思想の変容」、日本宗教学会第七六回学術大会発表、2017年9月

「教祖論再考—二代真柱における教学と宗教学を問いなおす—」、天理大学創設者中山正善50年祭記念シンポジウム（パネル3「宗教研究」）発表、2017年11月

- 「「信」の言葉に耳を澄ます―神秘主義研究の新地平―」、天理大学宗教学科秋季特別講義（第34回渋沢・クローデル賞、2017年度日本宗教学会賞受賞記念講演）、2017年12月
- 「来るべき天理教学のために―現代教学・神学の条件―」、天理大学附属おやさと研究所第三〇八回研究報告会発表、2018年1月
- 「信仰の闇の彼方―17世紀フランスのイエズス会士ジャン＝ジョゼフ・スュランの神秘主義―」、天理日仏文化協会講演会、2018年3月
- 「暗夜の信仰―キリスト教神秘主義の隠れた主題とその現代的可能性―」、天理大学人間学部公開講座「人間学で読み解く現代社会」第1回、2018年5月
- 「Rouault mystique? ―世俗化と神秘主義の時代のキリスト教画家―」、宇都宮美術館ルオー展記念講演、2018年8月
- 「暗夜の信仰」の知の系譜学」、平成30年度土井道子記念京都哲学基金シンポジウム「信と知―今日における―」、2018年9月
- 「17世紀フランス神秘主義における十字架のヨハネ」、日本宗教学会第77回学術大会、2018年9月

(6) 受賞

- 第34回渋沢・クローデル賞本賞（『ジャン＝ジョゼフ・スュラン―七世紀フランス神秘主義の光芒―』に対して）
2017年度日本宗教学会賞（『ジャン＝ジョゼフ・スュラン―七世紀フランス神秘主義の光芒―』に対して）
2018年度天理大学学長褒賞（2017年度の教育研究活動に対して）

3. 主な社会活動

(1) 学術活動・社会活動

- パリ国際大学都市日本館CEM（多文化交流研究会）担当委員（2012年10月～2013年6月）
天理やまと文化会議委員（2014年4月～2016年3月）